

全教ジェンダー平等推進委員会 Presents

PART 1

ジェンダー平等学習交流会

7月28日（月）18：30～オンライン

全教では昨年「全教ジェンダー平等宣言」を発表しました。職場からは、具体的にジェンダー平等を進めるためにはどうしたらいいの？大事なことだと分かってはいるけれど、毎日が忙しくて流されてしまう…など様々な声が届いています。ジェンダーの問題は、日々の生活や仕事の中に存在していますが、それを日常的に語りあうためには学習が欠かせません。そこで全教ジェンダー平等推進委員会では今年度、誰もが参加できる学習やとりくみを企画しています！学習企画の第1回は、世界基準の人権と海外の運動について学びます。

「ジェンダーを考え語り合おう🐰🐰🐰🐰🐰🐰

～世界の人権保障の流れに学ぶ～



日本のジェンダーギャップ指数は、2025 年も前年と同じ 118 位とで、2019 年に 153 力国中 121 位に下降して以来、低迷したままです（2018 年度は 149 力国中 110 位）。一方で韓国は 2018 年の 115 位から 2019 年は 108 位となり日本を追い抜き、現在も日本より上位を維持しています。韓国はどうやってジェンダー平等を進めていったのか？を中心に、世界の流れから分かりやすく学んでいきます。

講師：布施恵輔さん（全労連事務局次長／国際局長）

ZoomID: 858 3946 1404

参加費無料

パスコード: 1111

どなたでもご参加いただけます

ジェンダー平等で働きやすくなる？

学校のジェンダー平等ってどうしたらいいの？

何でジェンダーギャップ指数が低いままなの？

国際的に見て日本ってどうなの？